

# 香川県の地震

令和5年(2023年)4月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1~2
香川県の地震表(震度1以上)	・・・	2
震度分布図	・・・	2

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会<sup>(注)</sup>

評価検討会調査結果 令和5年(2023年)5月10日	・・・	3
----------------------------	-----	---

(注)直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

## 地震一口メモ

緊急地震速報を活用した訓練について	・・・	4
-------------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

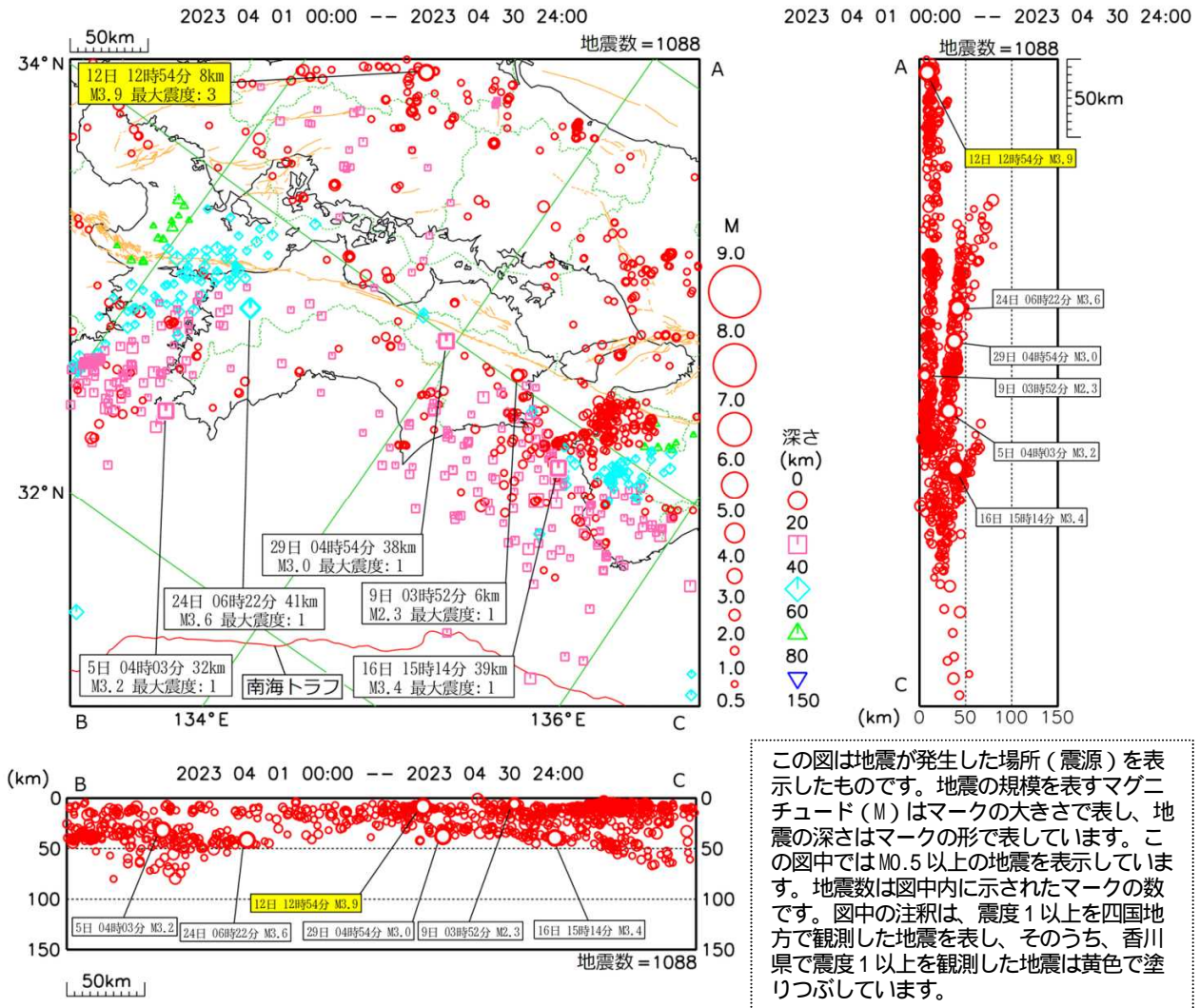
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2023年4月

## 震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

## 地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は0回）

12日12時54分 島根県東部の地震（深さ8km、M3.9）により、観音寺市で震度1を観測しました。この地震では、島根県雲南市で震度3を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県で震度2～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の5回でした。

5日04時03分 四国沖の地震（深さ32km、M3.2）により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

9日03時52分 徳島県北部の地震（深さ6km、M2.3）により、徳島県徳島市・石井町で震度1を観測しました。

16日15時14分 紀伊水道の地震（深さ39km、M3.4）により、徳島県阿南市で震度1を観測しました。この地震では、和歌山県で震度1を観測しました。

24日06時22分 愛媛県南予の地震（深さ41km、M3.6）により、愛媛県今治市・西条市・伊予市・砥部町・久万高原町・宇和島市・八幡浜市・大洲市・内子町・伊方町・松野町・西予市、高知県高知市・宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、広島県で震度1を観測しました。

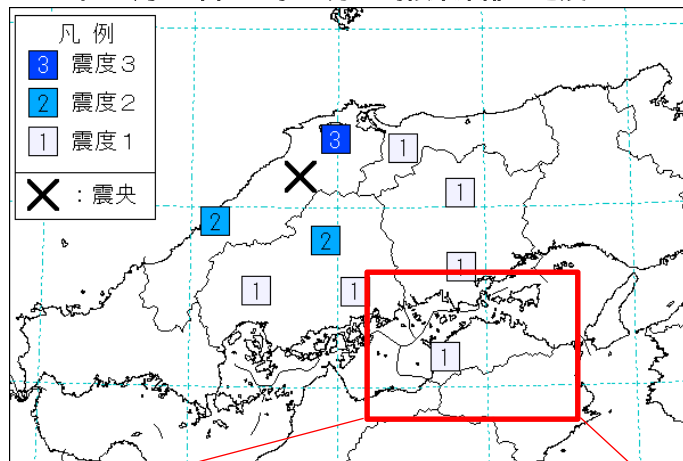
29日04時54分 徳島県北部の地震（深さ38km、M3.0）により、徳島県つるぎ町で震度1を観測しました。この地震では、岡山県で震度1を観測しました。

### 香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023年04月12日12時54分 香川県 震度1：観音寺市坂本町	島根県東部	35° 10.3' N	132° 44.6' E	8km	M3.9

### 震度分布図

2023年04月12日12時54分 島根県東部の地震



地域震度分布図



観測点震度分布図

# 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

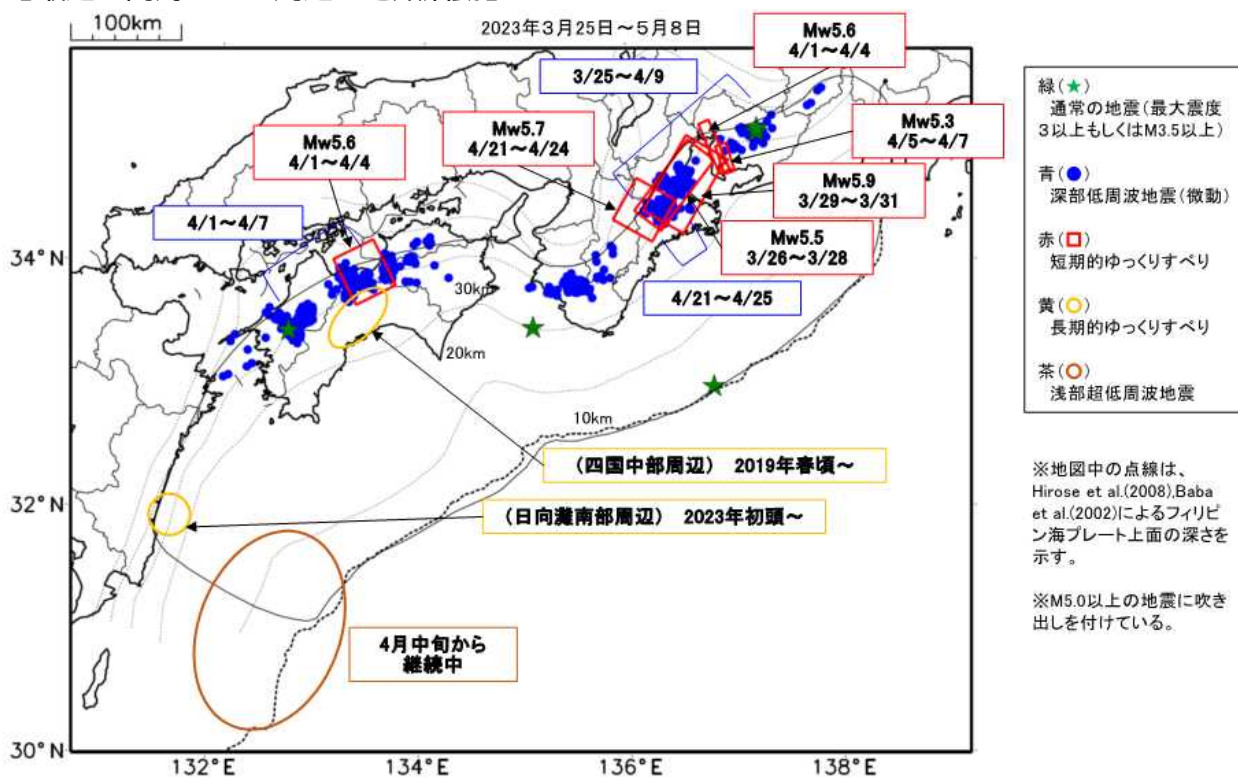
令和5年(2023年)5月10日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

## 【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注)南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

## 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。  
短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部から東海、四国中部、紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。  
長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。  
浅部超低周波地震.....【種子島東方沖、大隅半島南東沖、日向灘及び宮崎県東方はるか沖】防災科学技術研究所の解析結果を元に活動期間及  
おおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青)、短期的ゆっくりすべり(赤)、長期的ゆっくりすべり(黄)について、これらの現象はプレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2305/10a/nt20230510.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム> 防災情報> 南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>



# 【地震一口メモ】

## 緊急地震速報を活用した訓練について

地震はいつ起きるか分かりません。また、どのような場所において強い揺れにあうのかもわかりません。気象庁が発表する緊急地震速報は、地震の発生後、強い揺れが来ることをお伝えする情報です。緊急地震速報が発表されてから強い揺れが来るまでは、わずかな時間（数秒～数十秒）しかありません。地震の揺れから身を守るためには、その場所や状況に合わせてあわてずに身を守るための行動を取る必要があります。

そのためには、普段からいろいろな場面を想定したシミュレーションをしておくことが有効です。

気象庁ではいつでもお好きな時に緊急地震速報の訓練ができる訓練用キットを、ホームページで公開しています。緊急地震速報を活用した訓練を積極的に行うことで、とっさに身を守る行動について学ぶなど、日頃からの備えに役立ててください。



国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

ホーム | 防災情報 | 各種データ・資料 | 地域の情報 | 知識・解説 | 各種申請・ご案内

ホーム > 知識・解説 > 緊急地震速報について > 緊急地震速報を活用した訓練について > 緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など

### 緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など

ここでは、緊急地震速報を見聞きした時に対応行動をとる訓練を実施する際に活用して頂ける映像・教材などを紹介します。用途に応じてご活用ください。

#### 訓練用キット（動画）

気象庁では、緊急地震速報を国民の皆さまに理解し、有効に活用して頂くため、各機関等で実施される防災訓練の中で緊急地震速報受信時の対応行動訓練を実施して頂けるよう、訓練用キット（動画）を作成しました。

全国各地での訓練が可能となるよう、各地域の地震を想定した映像を作成し掲載しています。

訓練用キット（動画）～解説入り～

緊急地震速報 強い揺れの地域  
初級山沖で地震 近畿 関東 西国 中国 伊豆諸島 北陸 中信 九州 四国

- ・最初に緊急地震速報訓練の実施方法の解説があります
- ・ブザー音を合図に対応行動をとります
- ・ファイルをダウンロードしてご利用いただけます

地域別に8種類作成しています。  
詳細・ダウンロードは[こちらへ](#)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kit1.html>

また、スマートフォンのアプリでも訓練ができます。

一例として株式会社NTT ドコモの「地震防災訓練アプリ」を紹介します。

このアプリはNTT ドコモ以外のスマートフォンでも利用可能です。（一部利用できない機種があります。）

「地震防災訓練アプリ」の詳細につきましては株式会社NTT ドコモのホームページをご覧ください。

「地震防災訓練アプリ」（株式会社NTT ドコモホームページ）

[https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/earthquake\\_warning/disaster\\_prevention/index.html](https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/earthquake_warning/disaster_prevention/index.html)

学校や地区での避難訓練の際にこのようなアプリをお使いいただくと、より効果的な訓練が実施できます。

気象庁では、毎年6月と11月の年2回中央府省庁や地方公共団体、民間事業者等を対象とした緊急地震速報訓練を行っています。今年の第1回目は、6月15日（木）の10時頃、気象庁から訓練用の緊急地震速報を配信します。緊急地震速報を受信できる設備をお持ちの皆様は、この機会をぜひご利用ください。